



＼(^o^)／和牛業界最高の無料情報誌を目指します！！

## ➤ 新年あいさつ ～ 広島県知事 年頭のごあいさつ ～



広島県知事 湯崎 英彦

あけましておめでとうございます。

平成 30 年の新春を迎え、皆様に謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年 11 月の知事選挙におきまして、県民の皆様から、多数の御信託をいただきました。広島県の更なる発展に向け、県政運営を託してくださった皆様の御期待と、責任の大きさを強く感じております。

さて、本県では、現在、県民の皆様の「欲張りなライフスタイル」の実現を応援するため、個人の状況やライフスタイルに応じた多様な働き方を推進するとともに、雇用や強い地域経済をつくるためのイノベーションを推進するなど、さまざまな施策に取り組んでいるところです。

広島和牛に関しては、担い手が将来の生活設計を描ける農林水産業の確立をめざし、経営力が高く次世代に継承可能な担い手の育成、「広島固有の血統」に着目した和牛の生産拡大や県内量販店及び飲食店等における販売拡大等に取り組んでおります。

また、平成 29 年 12 月に策定した「ひろしま観光立県推進基本計画（H30～H34）」では、外国人観光客をはじめとした近年拡大する観光産業にさらに磨きをかけ、総観光客数の増加を進めるとともに、日帰りから宿泊への誘導と、観光消費額単価の向上により、観光消費額の増大をめざすこととして

います。

観光消費額単価のうちの飲食消費額の増加のためには、かきやお好み焼きだけでなく広島和牛の魅力をもっと PR していく必要があると考えており、そのために生産・流通量を確保し、提供店舗数を拡大しつつ、広島ならではの食を楽しめる情報発信に取り組んでまいります。

皆様におかれましては、本県の施策推進に対する御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

新年の門出に当たり、広島和牛業界のますますの御発展と、広島和牛経営をはじめ関係する皆様の御健勝、御多幸を祈念いたしまして、新年のごあいさつといたします。

平成 30 年新春

広島県知事 湯崎 英彦

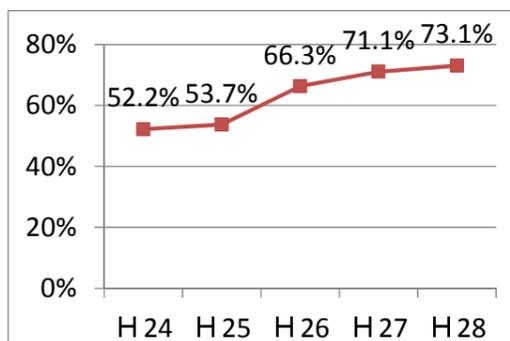
## ➤ 広島和牛販売状況 ～ 広島のスールフードをめざして ～

「広島牛」に加え、「広島和牛 元就」「比婆牛」「神石牛」の銘柄が平成 26 年ごろからブランド和牛として定義づけられ、販売拡大が進められています。近年では、それらを含めた広島和牛の取扱店舗数が増加している様子がうかがえます。（表 1）

広島和牛の伝統や歴史の象徴として広島血統和牛を中心に飲食店で取扱が拡大しています。最近の肉食需要に連動した傾向と言えます。

生産段階においては、第 11 全共の取組などにより広島血統和牛の出荷が増加しています。（表 2）

また、高品質和牛肉と言われる上物率（4、5 等級の割合）も近年大幅に上昇しており（図 1）、より一層の生産拡大（広島血統和牛の増産）と安定供給を進めるとともに、広島和牛ブランド力を高め、多くの方から評価されることが重要であるといえます。



（図1）和牛の上物率の推移

広島食肉市場年報（広島市）より

（表 1）広島和牛取扱店舗の推移

単位：店

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年
店舗数	80	108	128
うち飲食店	36	51	68
うち小売・量販	44	57	60
うち広島血統和牛取扱量販店	10	20	19

広島牛、元就、比婆牛、神石牛の指定店やメニューで表示するなどして販売が確認された店舗の集計結果。 広島県畜産課調べ

（表 2）広島血統和牛の出荷頭数の推移

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年
広島血統和牛	474 頭	491 頭	667 頭

元就、比婆牛、神石牛（神石血統）の合計頭数。

広島県畜産課調べ

## ➤ 収入保険って何だ！？ ～ 和牛経営の皆さんも知っておいてください ～

平成31年1月から、全国で農業の収入保険がスタートします。収入保険は、「品目の枠にとらわれず、自然災害による収入減少だけでなく、価格低下なども含めた収入減少を補てんする保険」として農業共済等の類似制度より、新しい作物の導入や、販路の拡大などに取組み易くなります。収入保険は、チャレンジする農業者を支援する保険と言えます。

ただし、牛マルキンなどの対象である肉用牛、肉用子牛等については、収入保険の対象から除かれています。

つまり、この制度は牛の肥育経営や繁殖経営には、関係のない制度です。しかしながら、牛以外の農業品目（米、野菜など）は、収入保険の対象ですので、収入保険に加入することができます。

### 【収入保険の概要】

- 収入保険の対象者は、青色申告を行っている農業者
- 自然災害だけでなく、価格低下も含めてサポート
- 品目の限定は、基本的になし
- 収入が基準収入の9割を下回った場合に、その9割を補てん
- 窓口は、農業共済組合等
- 平成31年1月からスタートする任意保険
  - ・青色申告4年未満は補償限度額の上限が段階的に減額されます。
  - ・保険料の掛金率は約1%程度。
  - ・個人の保険期間は1月～12月。
  - ・加入申請は平成30年10月頃から

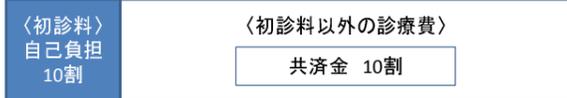
一方で、収入保険のスタートに併せて農業災害補償制度が見直されます。その中の家畜共済も見直しが行われます。主な見直し点は、次のとおりです。

### 【農業災害補償制度（家畜共済）の主な見直し内容】

現 行	見直し内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>・死傷共済と病傷共済のセット加入</li> <li>・期首の資産価値で補償する方式</li> <li>・初診料は自己負担、それ以外の診療費は全額共済金で補償</li> <li>・掛金率は、多くの組合で農業者一律</li> <li>・無事戻し</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・死傷共済と病傷共済に分離し、選択可</li> <li>・肥育牛は事故発生時の資産価値で補償</li> <li>・診療費全体の1割を自己負担（平成32年1月から）</li> <li>・危険段階別の掛金率を全国で導入</li> <li>・平成33年度までで廃止</li> </ul>

家畜共済の補償の見直しイメージ

### 【現行】



### 【見直し後】



共済制度が、人の健康保険や民間の保険制度のように柔軟かつ有利なしくみになりつつあります。

## ➤ WCSとTMRで飼料の安定供給体制を準備中

平成29年12月11日（月）に、県立みよし公園カルチャーセンターにおいて、畜産技術センター成果発表会が、生産者や畜産関連企業や関係機関の担当者など約90名参加のもと開催されました。

今年の発表会は、牛のTMR（Total Mixed Rations：混合飼料）をテーマとして企画されました。

今回は平成30年4月から本格稼働が予定されている“和牛専用TMRセンター”の設置経過や今後の展望、さらに販売予定のTMR飼料の研究結果などが発表されました。このTMR飼料の活用により、和牛経営の飼料給与の省力化、子牛・肥育牛の高品質均一化を可能にし、規模拡大など経営発展が期待される革新的な取組と言えます。

### 《和牛専用TMRセンターの概要》

目的 飼料給与の労力軽減、水田の有効活用、高品質牛の生産  
 所在地 三次市三良坂町仁賀（元七塚原青年の家）  
 運営母体 JA全農ひろしま  
 稼働開始 平成30年4月予定  
 製造飼料 和牛子牛用TMR（原料：イネWCS、トウモロコシ、乾草、ミネラルほか）  
 和牛繁殖牛用TMR（原料：イネWCS、トウモロコシ、フスマ、ミネラルほか）  
 和牛肥育牛用TMR（原料：トウモロコシ、ビール粕、乾草、ミネラルほか）  
 販売形態 小袋包装（20kg/袋）、角型包装（500kg/個）  
 販売価格 調整中

### 《TMRとは》

- ・読み：ティーエムアール
- ・Total Mixed Rations（完全混合飼料）の略。
- ・牛に必要な飼料（粗飼料+濃厚飼料）をすべて混合した「混ぜご飯」
- ・本県のTMRは、平成元年ごろから乳用牛用が酪農組合から供給された。平成26年からは全国に先駆け、飼料イネが原料に利用されている。
- ・和牛用TMRと合わせ全国でも先進的な取組と言える。

### 小袋包装によるTMR調製技術の検証

未発酵のTMRを小袋に詰め、保管(発酵)から給与までを検証



和牛用TMR（左）、小袋包装の和牛用TMR（中、右）場所を取らず、給与量が分かりやすく、変敗や廃棄が少ないというメリットがある。

### 《和牛専用TMRの特徴と効果》

- ・小袋包装（20kg/袋）と大型の角型包装（500kg/個）であらゆるお客様に対応。
- ・給与は1日1回でOK。
- ・地場のイネWCSを主原料としています。
- ・生産コストを約1割カット。労働時間は約2～3割カット。
- ・通年給与可能。

## 《お知らせ》

### 今年の和牛改良講演会は行われません

例年、家畜改良事業団岡山種雄牛センターでは、2月頃に岡山県津山市において、和牛改良講演会を開催し、広島県からも多くの経営者の皆さんなどが参加されていますが、事務局に確認したところ、今年、開催されないとのこと。

### 冬の子牛のカゼに気を付けましょう～寒い時の落とし穴～

冬は子牛の保温を考慮して牛舎の戸締りを徹底して寒気を防いでいると思いますが、意外な落とし穴にお気づきでしょうか？子牛がストレスで初めに影響を受けるのは肺で、カゼ（呼吸器病）や下痢などが危惧されます。その対策には、新鮮な空気が子牛にとって大切です。子牛の鼻の高さにしゃがんでアンモニア臭の程度を観察してください。換気と寒冷対策とは相反しますが、湿っていると寒さを強く感じますので、乾燥していることも重要です。

- ・寒い時はよく乾燥した敷料をたっぷり。濡れたら交換。
- ・アンモニア臭気がこもらないよう換気を優先。
- ・寒ければヒーター（保温ランプ）、カーフジャケットで保温対策を実施。
- ・冬は体温維持エネルギー分を考慮した十分なミルクを給与。早飲みの誤嚥に要注意。
- ・牛舎を明るくして汚れを見つけやすくし、密飼いを避け、子牛の様子がいつもと違ったら体温を測定。

お知らせ（^o^）広島和牛 NEWS が Web で閲覧可能になりました⇒「広島和牛 NEWS」で検索！

次回は、3月1日発行予定！